



令和5年(2023年)第22週 2023年5月29日(月)~2023年6月4日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## ●インフルエンザが急増しています。

感染症発生動向調査で、熊本市の第22週(5月29日~6月4日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、4.16人(定点数25ヶ所、患者報告数104人)となり、先週より倍以上増加しています。今年に入って学級閉鎖の報告も多く、小規模な流行が各地域で見られます。人の流れが活発になり、他の感染症も増えてきています。引き続き感染予防に努めましょう。

### ◆インフルエンザの症状について

典型的なインフルエンザの症状は、インフルエンザウイルスに感染してから1~3日ほどで、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然あらわれた後、咳、鼻水などの上気道炎症状があらわれ、約1週間ほどで軽快します。

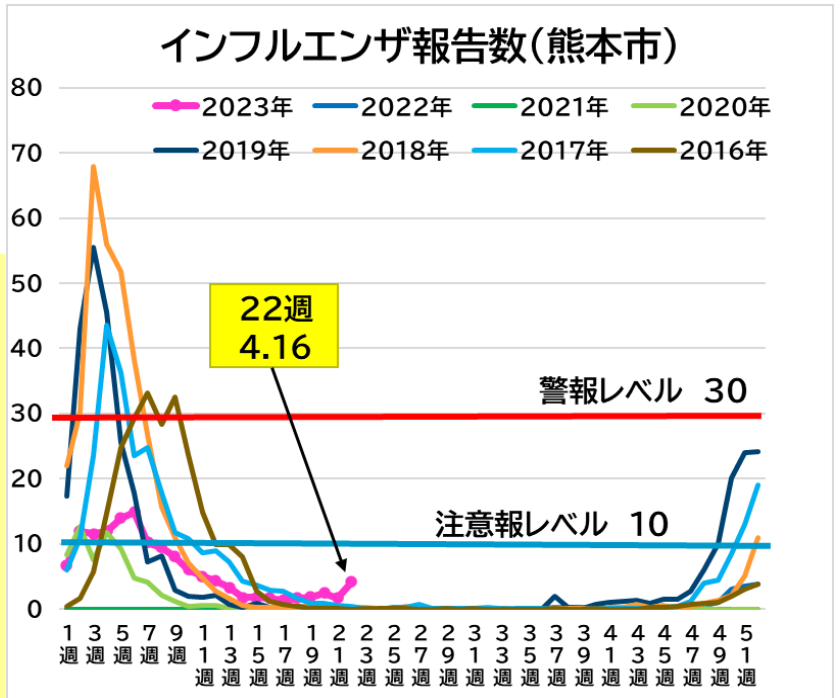
### 飛沫感染対策としての咳エチケットを心掛けましょう

・患者の咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴(飛沫)を吸い込むことによる飛沫感染が主な感染経路です。

◆咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

◆鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。

厚生労働省「令和4年度 今冬のインフルエンザ総合対策について」より引用



定点 種別	期 間		2023年 21週		2023年 22週	
			5/22~5/28		5/29~6/4(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
C O V I D - 1 9	インフルエンザ <span style="color: green;">増加中</span>	↑	43	1.72	104	4.16
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19) <span style="color: green;">増加中</span>	↗	67	2.68	86	3.44
小 児 科	RSウイルス感染症	↘	3	0.19	2	0.13
	咽頭結膜熱(プール熱) <span style="color: green;">増加中</span>	↗	9	0.56	11	0.73
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 <span style="color: green;">5週連続増加中</span>	↗	23	1.44	26	1.73
	感染性胃腸炎 <span style="color: green;">増加中</span>	↗	100	6.25	119	7.93
	水痘(みずぼうそう)	→	0	0.00	0	0.00
	手足口病	→	1	0.06	1	0.07
	伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	→	7	0.44	8	0.53
	ヘルパンギーナ	↘	34	2.13	28	1.87
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	2	0.13	1	0.07
眼 科	急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	↗	0	0.00	4	0.80
基 幹	細菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
	無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00